※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００１

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	未来へつなぐ家庭基礎３６５（教育図書）						
副教材等	ー						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、座学や実習や実験、グループでの話し合い、ワークショップなど様々な体験学習を取り入れ、実感をともなう授業を目指しています。知識や技術を身につけるとともに、互いに尊重しながらコミュニケーションをとり、多様な考えを知り、自分なりの考えを深めていってください。また、自分らしさを発揮して、生活の向上 及び よりよい人生を創り出すために、考え、学ぶ時間になることを願っています。

2　学習の到達目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むための基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだし、主体的に解決するとともに、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むための基礎的・基本的な知識と技術を身につけている。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだし、その解決を目指して、思考を深め、解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために意欲的に実践しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	□オリエンテーション ■青年期の自立と家族・家庭 テーマ：“自立・自律” ■生涯の生活設計	「家庭科」を学ぶにあたって〈他己紹介スピーチ〉 自己を見つめる 家族・家庭とは 法律における家族 男女共同参画 人生をデザインする これからの人生に向かって	a:青年期の課題、家族・家庭の意義、社会のかかわりについて理解し、人の一生を自分の問題として捉えるための知識を身に付けている。 b: 人の一生を自分の問題として捉え、課題を見出し、その解決を目指して、考えを深め、表現している。 c: 学習内容に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査・レポート課題	定期考査・レポート課題・振り返りシート・行動観察・発表発言	レポート課題・振り返りシート・行動観察・発表発言
	■衣生活をつくる □人と自分とコミュニケーション１	被服実習（３回／計６時間）〈基礎縫いを取り入れたエプロン制作および袋づくり〉 被服管理 暮らしを考える 自己を知る、他者を知るワーク	a:主体的に生活を営むために、被服実習において必要な基礎的・基本的な技術を身につけている。 b:自ら考えながら制作をすすめ、創意工夫を表現している。 c: 意欲的に実習に取り組み、実生活に活かそうとする実践的な態度を身につけている。	作品制作・技術テスト		

※令和４年度以降入学生用

二学期	■子どもの生活と保育 テーマ：“いのちを育む” ■共生社会と福祉	妊娠の不思議と胎児の変化 いのちの重み・出産の重み 子どもが育つ力 親として育つ 社会で子育てを支える 愛されて育つ 〈地域連携授業〉 ○ 交流授業（地域親子や近隣保育園、子ども園） ○ 親になることを考える：子育てインタビュー（教員/OG・OB/周囲の方） ○ 支援機関ビデオレター 共に生き、共に支える社会	a：生命の尊さ、子育ての意義、保育者や周囲とのかかわり、家庭、社会の役割について理解している。 b：子どもを産み育てることの意義や人間形成の基礎となる幼児期へのかかわりについて考えを深め、表現している。 c：自分の現在、未来と結びつけながら考え、学習に意欲的に取り組もうとしている。	定期考査・レポート課題	定期考査・レポート課題・振り返りシート・行動観察・発表発言	レポート課題・振り返りシート・行動観察・発表発言
	■生活の自立と消費生活、生涯を見通した経済計画 □人と自分とコミュニケーション２	高校生のための金融リテラシー講座 １．求人票・給与明細を読み解く、社会保険の仕組み ２．生活における経済計画、将来にむけた資産形成 ３．契約の重要性および消費者の責任、消費者問題 自己を知る、他者を知るワーク	a：消費行動や資産形成における意思決定や消費者問題の原因と被害について理解している。 b：消費行動における意思決定や資産形成、契約、消費者問題について具体的に認識し、消費者として適切な判断ができる力を持っている。 c：学習内容に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。			

※令和４年度以降入学生用

三学期	■食生活と健康 テーマ:“食べることは生きること”	食生活について考える バランスの良い食事と栄養 （食事摂取基準、４つの食品群別接収量のめやす、一汁三菜の考えをもとに） 食の選択力 心を育む食卓づくり 調理の基礎、配膳、マナー これからの食生活を考える 〈実践課題（実生活において）〉 ① 食事記録 及び食事点検 ② 食育実践２weeks （朝食摂取 及び 野菜 350g プロジェクト実施） ≪調理実習≫ 年間通して段階的に行う （３～５回実施予定）	a: 食事がもたらす役割を理解し、食に関する習得すべき知識や重要な概念を身につけている。 b: 現在の自分の食事の傾向を知り、健康で安全な食生活を営むための基本を理解し、考えを深め、それを実践できる能力を身につけている。 c: 食が心身をはぐくむ上で大切なものであることを理解し、実生活に活かそうとする実践的な態度を身につけている。	実践課題・レポート課題	行動観察・レポート課題・振り返りシート・発表発言・実践課題	行動観察・レポート課題・振り返りシート・発表発言・実践課題
	□人と自分とコミュニケーション３	自己を語る〈1 分間スピーチ〉				

※ 表中の観点について a:知識･技能 b:思考･判断･表現 c:主体的に学習に取り組む態度

＊2 学期、3 学期の単元は内容を横断的に学習する

＊学習指導要領記載 10 分の 5 以上を実験・実習に配当し、実践的・体験的な学習を通して学びを深める